

REIMEI

黎明

～一般社団法人 日本PVプランナー協会会報誌～ Vol.14 春号



表紙写真提供
(株)タデック
(株)ビル技研&千葉エコ・エネルギー(株)
(株)ヨネカワ

CONTENTS

・特集／脱FIT

- ・太陽光発電は「自家消費設備」の時代に突入!
- ・脱FITに向かう自家消費
- ・地区会レポート／東日本合同・合同会議
セミナー、中国・四国地区
- ・会員企業訪問／(株)KIK/(株)MGプラン
東北エネルギー(株)
日本住宅サービス(株)
- ・SDGs達成に貢献する団体であることを
宣言します!

脱FIT、卒FITで新たな時代へ

一般社団法人日本PVプランナー協会 理事長 池田真樹

平素は、当協会に対しご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。日増しに春めいてまいりました。ニュースでは桜の開花に一喜一憂しております。ソメイヨシノはすべてがクローンです。個体の違いがない中でこれだけ早く咲くようになったということは、やはり気候変動の影響を大きく受けていることになるのではないのでしょうか。太陽光発電事業の推進を早めて行かなければなりません。

年明けに自家消費型太陽光発電セミナーを開催し、好評とのこと嬉しく思います。自家消費太陽光発電や太陽光発電第三者所有モデル(TPO)の提案の仕方について説明をさせていただきました。SDGsの目標

の一つ「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」は803兆円の市場規模が見込まれており、ESG投資も活況になりつつあります。潮流はわれわれに見方していると感じる今日この頃です。

今年は脱FIT、卒FITの新たなビジネス構築の元年として、自家消費や卒FITに向けた普及モデルを立ち上げ、世の中に早く普及できるモデルを構築し、リリースしていきたいと考えています。

平成が終わる歴史的瞬間です。この瞬間はわれわれにとっても象徴的であり、いままでのFIT頼みのビジネスから、再生可能エネルギーがエネルギーの当たり前になる世の中へ、皆様と一緒に挑戦していきたいと考えております。引き続きご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



一般社団法人 日本PVプランナー協会 理念

私たちは、PV プランナー・PV システムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には

- 1、私たちは「地球環境問題」の解決に取り組みます。
- 1、「販売」は、コンプライアンスを遵守します。
- 1、「商材説明」は、お客様に正しい知識と情報を提供します。
- 1、「施工」は、安全を第一に考え、お客様の家屋を守りながら、適正な発電が行えるよう努力します。
- 1、「アフターサービス」は、お客様のニーズに応え、素早い対応を心がけます。

以上を行い、私たち・お客様・地球が共に繁栄する「豊かな未来創り」に貢献します。

2019年度 安全スローガン募集!

2019年度 安全スローガンを5月連休明けより募集開始いたします

昨年に続き、会員企業内にて社内コンペを行っていただくことで会員企業様の社内における安全意識向上を図っていただければと思います。

5月～9月までの募集期間とすることで、会員企業様のタイミングで社内コンペが開催しやすくしたいと思います。

事務局だより

新元号、決まりましたね。「令和」…初めて「万葉集」という日本の古典が出典というのも新鮮ですね。キラキラネーム感もあって時代に合った元号かもしれません。昭和に生まれ、平成を経て、令和…3つ目の元号を迎えることになるのは…感慨もひとしおです。長生きが多い家系なので、おそらく4つ目も迎えるかもしれません。明治生まれの祖母は明治～大正という3つの時代ー100年を生きましたから…。

せっかく元号が変わり、新しい時間が刻まれ始めるのだから、ここはひとつ、何か新しいことにチャレンジしよう一念発起(大袈裟ですが)、今年は漢字検定を受けようかなと考えています。さすがに1級は別格なので、とりあえず2級のテ

キスト本を買ってみました。読み・書きは何とかなりそうですが、四字熟語で早くもめげています。意味がわかっていないから字面だけで覚えるのはなかなか効率が悪いようです。正に不得要領といったところでしょうか…。

漢検に限らず、これまでと違うことにチャレンジしたり、今まで関わってこなかったコミュニティの人たちと交流したり、嘉辰月一そんなきっかけとなる令和元年としたいと思います。

雲外蒼天、頑張ってみます。(霞谷)



お問い合わせは…



一般社団法人 日本PVプランナー協会

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜3-7-18

日総第18ビル 715号室

TEL:045-594-8015/FAX:045-594-8016

Web <http://pv-planner.jp>

Mail otoiawase@pv-planner.jp

制作・編集: (株)電設出版

SHIN EI

太陽光発電メンテナンス測定器

ストリングの不良診断



新製品

PVレジスタンスチェッカ
PVR-1000

測定
1秒!

定価 ¥138,000 (税別)



内部抵抗値でストリング診断

正常			不良初期			発電異常		
No	Loj	Loj	No	Loj	Loj	No	Loj	Loj
A002	57	266.7	A003	10	266.4	A004	10	266.5
A003	10	266.4	A004	10	266.5	B001	567	265.4
A004	3/2000	B001	4/2000	B002	5/2000			
	100	266.5V		5670	265.4V		>10000	265.6V

※判定値は変更できます。開放電圧は、カラー判定しません。

NO-GO
判定

2000件
保存

USB
管理

650g

モジュールの性能診断



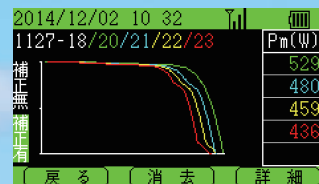
I-Vカーブトレーサ

IVH-2000Z

測定
1秒!

定価 ¥450,000 (税別)

I-V比較測定



SDM-3600 管理ソフト(付属)



I-V
カーブ

解析
ソフト

日射計
付属品

1.4kg

日射・温度計(付属)

新栄電子計測器株式会社

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2636
TEL 0466-88-3030 FAX 0466-87-0627

SHIN EI

<http://www.shin-ei.ne.jp>

脱FIT

太陽光発電は「自家消費設備」の時代に入入!

FIT価格が14円となり、太陽光発電設置も自家消費の時代になりました。そして自家消費といえば企業(需要家)の工場・倉庫・建屋への設置となり、パネルも周辺機器も30年稼働が望まれるようになります。当然、保守管理のあり方も設備の維持管理が重要になってまいります。

竣工検査～年次点検による数値管理や経年劣化を記録しパワコンなどの部材交換も行います。そして作業者の **事前注意** や **点検作業における安全確認** も重要となります。



IR(赤外線)検査

事前注意

- (1) 保護具の使用期限や状態を作業前に確認すること
- (2) 計測器の定期校正が行われているか作業前に確認すること
- (3) 使用機器の耐電圧/耐電流を作業前に確認すること

点検作業における安全確認

- (1) 接続箱/PCS/モジュールなどの直流は検電器での漏電確認後に作業を行う
- (2) 電気計測作業には絶縁手袋を着用すること
- (3) I-V特性測定等の負荷測定には絶縁手袋と保護メガネを着用すること
- (4) 保護帽/安全靴(絶縁靴)を正しく着用すること
- (5) 陸屋根/折半屋根など高所作業時には安全帯(フルハーネス)/親綱を確保すること

これらはすべての保守管理に共通するものですが、このような体制で行うことを事前に企業(需要家)にお伝えすることが保守点検の受注には重要と考えます。



I-Vカーブトレーサー検査



I-Vカーブトレーサー検査

写真提供
協会員:タキマテック(株)

太陽光発電はさらに次の時代へ進化します！

「脱 FIT に向かう自家消費」

(株)横浜環境デザイン
代表取締役社長 池田真樹氏

太陽光発電は2012年にFIT制度が始まってから発電コストがいちじるしくダウンし、売電が当たり前となりました。

しかし、今FITは終わろうとしています。
世界の流れもRE100※1、ESG投資※2、SDGs※3など再生可能エネルギーを使って事業・社会・経済を持続させていく方向に向いています。

FIT以前は企業にとって太陽光発電を設置することは、その企業の環境に対する姿勢を示すもので、CSR的な要素が大きく発電量も小さいものでした。

しかし今は違います。今は世界的な流れに乗って、ようやく本当の意味での自家消費時代がやってきたといえるのだと思います。そもそもの太陽光発電のミッションに戻ったともいえます。

自家消費は古いのだけれど、昔とは違う新しい形で始まっているのです。

RE100 を宣言した企業の広がり

霞が関の高いビルから眺めるとよくわかるのですが、官公庁の屋根にはほぼ自家消費型の太陽光発電設備が設置されています。また、各地の学校や行政施設の屋根にも多く見られます。

では、なぜ今あらためてFITに頼らない自家消費型の太陽光発電に注目しなくてはいけないのか。FIT頼みの政策を続ければ賦課金の国民負担が大きい上、FIT単価が下がり続けると事業として成り立たなくなり、たずさわる人がなくなってしまいます。

一方、FITでないと補助金が出る場合がありますし、



発電設備のコストは大幅に低下しています。そしてRE100企業が増加しています。

日本は政策転換の時期に入っているといえるでしょう。

グローバルなRE100企業は日本にもサプライチェーン工場を持っています。この工場に対して世界はRE100化を要求してきています。

ここにわれわれが気付くかどうか、ビジネス的に重要と思われる。外資系企業から、これらサプライチェーンに太陽光発電をつけてほしいという要望は多いと感じています。つまり再生可能エネルギーで製品を作りたいという要望です。日本の企業も追従すると思います。なぜなら追従しないと世界から取り残されてしまうからです。このあたりも注意深く見ていく必要があるのではないのでしょうか。

実際、電気を使う工場の屋根あるいは横の土地に東京電力の子会社が太陽光発電所を建設し、すべての電気をその企業に売っている例もあります。このやり方なら環境価値が100%です。

RE100 企業と取引がある企業を狙え

ただ、当協会の会員企業様がグローバル企業にいきなり営業に向かうのは無理があるかもしれません。

しかしながら、RE100のグローバル企業となんらかの取引がある日本メーカーや物流の企業にご提案するのは可能なのではないのでしょうか。この大きな波を材料に営業をかけていくとよいと思います。「CO₂を削減ないしはCO₂を排出しないラインで何々を作してほしい」と要望されている企業は現在日本に多くあると思います。当協会の会員企業様の近くにも必ずこういった企業があると思われます。

RE100 を目指すのは企業だけではない

また、この波は企業だけではないのです。自治体も温暖化対策の目指すゴールとして掲げています。

例えば私の地元横浜市は「ゼロカーボン横浜」というスローガンのもと日本気候リーダーズ・パートナーシップ（RE100に加盟している国内企業7社が参加しています）と連携協定を締結しました。その先進的な取組みをCOP24の中で発表して非常に話題になったのです。

このように脱炭素社会をゴールとする自治体も増えてくると予想します。ビジネスのチャンスはさらに増えてくるのではないのでしょうか。

次の時代へ

ここで全量売電と自家消費を比べてみましょう。
全量売電は20年と決まっていますので、20年で売電ができなくなってしまいます。

一方で自家消費の場合、モジュールやパワーコンディショナをメンテナンスすれば20年以上もつことができるので20年以上稼働させることができます。

最大の違いはRE100を進める企業にとって自家消費は環境価値があるということです。

また自家消費の場合、接続工事の負担金もなく、キュービクルなどを新設する必要もない、造成費用もかかりません。

自家消費型のほうが有利な部分が多いのです。

このような理由で今後自家消費が増えていくのではないかと思います。

自家消費型太陽光発電設備の販売モデルを考えてみましょう。

「お客様が補助金をもらえる」=これは今年度の場合で来年度もあるかどうかは定かではありませんが、補助金をもらってコストを下げるすることができます。

「再エネ賦課金を払う必要がなくなる」=再エネ賦課金の上昇を気にする必要がなくなります。

また、デマンドコントロールにより昼間にピークがある企業は基本料金の削減をすることができます。BCP（ビジネス・コンティニュイティ・プラン）は、今やどの企業も取り入れています。この部分でもよりお客様に訴求できるのでないのでしょうか。

太陽光発電はさらに都市部へと広がり次の時代へと進化します。



※1 Renewable Energy リニューアブルエネルギーの頭文字のRとE。100は100%という意味で、企業が自社で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギーにするという運動

※2 環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）に配慮している企業を重視・選別して行う投資

※3 国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標で、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている

地区会レポート

東京編 (2019年1月18日)

—東日本合同地区会—

大阪編 (2019年1月25日)

—合同会議セミナー—

脱FITに向かう自家消費

協会として今年度最重要テーマと位置づける「自家消費」。その自家消費セミナー第一弾として「脱FITに向かう自家消費」と題し、(株)横浜環境デザイン代表取締役社長の池田氏にご講演いただきました。

今回のセミナーは東京と大阪で開催。参加人数は東京38名、大阪24名。この時期の地区会セミナーとしては例年を上回る参加人数となり、会員企業の皆様の関心の高さが窺える結果となりました。

セミナー冒頭、池田氏から「太陽光発電の自家消費は今に始まったものではない。FITが終わろうとしている今、企業をはじめ、行政や自治体なども続々と自家消費を導入する流れが世界で拡大している。本当の意味での自家消費の時代がやってきた」と、世界的潮流となりつつある自家消費についての話がありました(詳しくは特集P4-P5をご覧ください)。

次いで自家消費による経済的メリット、具体的導入事例、導入プラン例が示されました。セミナー中盤では、自家消費のビジネスチャンスがどこにあるのか、受注が見込める営業先の具体例なども紹介され、参加者からは驚きと賞賛の声が上がる一幕も(営業・導入事例は、協会HPの映像視聴からご



東京会場

大阪会場

覧になれます)。

質疑応答では、池田氏が代表を務める(株)横浜環境デザインが、今後どのような営業比率でFITから自家消費へシフトしていくかなど中期的な事業計画も語られ、自社の情報を惜しみなく提供する池田氏の姿に、自家消費へ大きな期待と熱意を抱いていることを参加者の皆様も感じることができたのではないのでしょうか。自家消費時代の本格的な到来に向けて、参加者にとって、希望となり指標となるセミナーになったようです。

セミナー後は今後の地区会で講演を希望する内容について、参加者同士のディスカッションが行われ、自営線を使用したソーラーシェアリングの自家消費の例や、蓄電池を活用した卒FITモデルについて等、盛んに意見が交わされていました。

また、東京会場では関東エリアの新入会員である(株)KIKの今泉様と中谷様へ、澤井エリアマネージャーと岸田エリアマネージャーから会員証が授与されました。大阪会場では、中国四国エリアの新入会員である日本住宅サービス(株)の今井様へ、池田理事長より会員証が授与されました。



ディスカッション



会員証授与：(株)KIK様



会員証授与：日本住宅サービス(株)様

地区会レポート

兵庫編 (2019年2月8日)

タマネギ畑でソーラーシェアリング 淡路島ソーラーファーム見学会

—中国・四国地区会—

中国・四国地区会では、ソーラーシェアリングの見学会を企画し、兵庫県の「淡路島ソーラーファーム様」(岡本賢三・純衣ご夫妻)を訪ねました。こちらは兵庫県で5番目、個人としては3番目の許可認定であったことから、当時の農業委員会・行政等とどのように対応したかの事例をおうかがいし、さらには脱サウで農業を始めたきっかけとなるお話や、初めての農業とどのように取組んだかもうかがうことができました。

岡本ご夫妻は受け継いだ農地を守るため、ソーラーシェアリングを導入し、淡路島特産のタマネギをはじめ、季節ごとに野菜を露地栽培しています。最初に1号基を設置の際、認定農家を目指すにあたり、生産する作物の特性を調査するために農業試験場をはじめ、大学や学会、種苗会社等へ問い合わせるなど、データの収集を綿密にされ、また、当初農地に太陽光発電を付けるということへの理解が得られなかったため、時間をかけて農業委員会から県民局などへ、何度も説明に向かわれたそうです。特産のタマネギはソーラーシェアリングの下部農地で栽培していることから、「ソラ玉ちゃん」と名付けられ、収穫した野菜は神戸のアンテナショップや地元の産直市場に販路を見出しています。

ソーラーシェアリング設置は「タマネギ畑で太陽光発電」「次代の農業への取組み」ということで、地元の新聞にも記事掲載されるなど、売電収入を得ながら、農作物を栽培する新しい農業の形が話題となったようです。ソーラーシェアリングの好事例ということで、近畿農政局のホームページでも紹介されています。このように記事として取り上げられることが、さらに岡本ご夫妻のやりがいへとつながっていったと語っていらっしゃいました。また、地元の小学生の見学・収穫体験を受け入れることで、ソーラーシェアリングへの理解が深まるよう積極的に普及活動にも取組まれています。

ソーラーパネルは手動による角度調整が可能となっていて、太陽の動きによる日陰を防いでいます。パネルにより雨垂れが落ちてしまうことへの対策はパネルとパネルの間に畝間の谷を作るなどして農



作物への雨垂れ被害を防いでいるそうです。こちらの設備を施工された(株)スマイルあわじ(近畿・北陸エリア協会)の長尾社長は、地元で農業法人を立ち上げ、農業がやりたいという1ターンの若い世代を雇い入れています。若い力と一緒に新しい地域活性も目指しているそうです。今回の見学会へも農業法人の若者2人の参加があり、農業に携わりたかった理由について次のように語ってくれました。「きっかけは東日本大震災3.11で意識が変わり農業に興味を持ち始めた。その時に出会った有機野菜が本当に素晴らしくて、野菜作りは自己表現できる場であり、また周囲の人の健康に係ることが出来る魅力的なものだと思い始めた。野菜を作るだけでなく、そのことが縁となって地域とつながることが楽しいし、これらを子供たちに伝えていきたい。ソーラーシェアリングはエネルギーと農業を考えていくきっかけになると思う」「自然が好きで、屋久島に住んでいたことがある一方、東京にも住んでいたことがあり、その落差を感じ、都市部に近いところで何かできないかと淡路島にやってきて、自ずと農業へ導かれていった。小さなひとつひとつの積み重ねが未来につながると思う。人の知恵を使えば、持続可能な環境を作っていけるはず」

2人の若者の率直な意見は、これからの農業とエネルギーがつながる可能性でもあり、また、若い世代の力を頼もしく感じました。参加者の皆が未来への希望を感じた見学会となりました。



1号基見学

1号基



2号基横の建屋にて

2号基

淡路島ソーラーファーム<http://awasora-farm.com/>

電気自動車が空を飛び、リニアで東京から名古屋まで移動時間40分の時代に、あなたは何をし何て何を遺したのかと問われたら

(株)KIK (関東エリア会員)

ごく近い将来のことです。①次世代の通信技術である「5G」がもたらす産業構造変化のインパクトは情報社会を大きく変え、②ドローンが小型郵便を運び、空を飛ぶ電気自動車が普及し、リニアモーターカーによる移動の速さが現在の常識を時代遅れとさせ、③エネルギーのクリーン化と自由化・国際化がさらに進んで日本の電気を韓国に毎日輸出しているかもしれません。

このような近未来につながるインフラのための工事に微力貢献することができればと考えています。

太陽光発電業界についてみると、市況は数年で変化しました。利益の出やすいビジネスから、低予算でかつ施工の品質を落とさず完工までなんとか寄せきる力が強く求められるようになりました。それでも技術の進歩とともにカスタマイズしやすい太陽光発電ビジネスそのものは存続すると思います。そこで事業の一環として、自家消費型太陽光発電の提案・施工を進めています。

弊社は、会社としては若い集団で、横浜市戸塚区



に倉庫兼事務所があり、従業員は40名です。電気工事と地下鉄電設工事、電気通信工事を主に元請から請けています。再生可能エネルギー分野では、杭打ちから電気工事、高圧までのメガソーラーの工事、ショッピングモールの電気自動車充電器設置工事の実績があります。

現在、スキルの高い職人の養成と確保は業界では共通の悩みであり課題だと思えます。弊社でも少しずつではございますが、養成を進めています。

皆様のご協力を得つつ、この時代で喜ばれるような実績を残せるよう研鑽に励む所存です。

・会社概要・
社名：(株)KIK
住所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚2784-1
代表者：代表取締役 上田 泉
創業：2005年
主な事業：電気工事業、電気通信工事業、新築ビル・地下鉄の電気工事、ケーブルテレビの電気通信工事

農家発！！太陽光施工の会社です！

(株)MGプラン (中部エリア会員)

弊社が他社と一味違うのは、畑に架台を組んで太陽光発電事業を行い、その下で作物を育てる、いわゆる営農型太陽光発電に力を入れているという点です。私の実家は地元静岡県掛川市で、先祖代々受け継がれてきた農地で米の生産を行う農業を営んでおり、息子は、掛川市の耕作放棄地を減らしていくべく、農業法人を立ち上げました。

父子共々、農家が直面する業績悪化や後継者不足といった問題を、どうにかしたいと模索しておりました。そこで、営農型太陽光発電です。営農型太陽光発電であれば、農家の方は農業を続けつつ年間安定して高額な収入を得られるし、耕作放棄地を保有する方は土地の管理を委任でき、かつ賃貸収入を得ることができます。

つまり、太陽光発電は農業の助けとなるのです。弊社はすでに多数の営農型太陽光発電所を稼働させています。もちろん設計・施工はすべて弊社が請け負います。2月現在、低圧営農型太陽光発電設備は22か所完成しており、来年度中には100か所を目指しています。弊社の得意とするところは太陽光だけにとどまらず、住宅事業にまで展開している

点です。最近では注文住宅だけではなく、LIFELABELとのフランチャイズ契約をし、企画住宅も手掛けています。

「地元の農業を盛り上げたい」—そんな強い想

いから立ち上げた太陽光施工の会社。より多くの方の未来を見据えて、関わるすべての方に幸せになってほしいと願っています。弊社の社員は20代～30代前半の若手が多く、みんな一丸となって農業・太陽光を盛り上げていこう！とやる気です。私たちのモチベーションは、ズバリ、地元掛川のため、そして未来の子供たちのためです。同じ想いを持った父と息子、それぞれの方法で農業の新しい風になればと「持続可能な農業」への挑戦です。

・会社概要・
社名：(株)MGプラン
住所：静岡県掛川市中5500
代表者：代表取締役 渡邊正和
創業：1992年
主な事業：太陽光発電システム設計、施工、販売、保守管理、コンサルティング、オール電化製品の設置、販売、住宅リフォーム、リノベーション



すべてはお客様のために 私たちはお客様と向き合向き合い最良のパートナーとして最善を尽くします

東北エネルギー(株) (東北エリア会員)

現代人の生活スタイルは多種多様です。朝、起床し、仕事、買物、学校に出かけ夕方過ぎに帰宅する。しかし、真逆の生活をされている人も多くいらっしゃいます。にも拘わらず販売店は同じご提案でよい訳がありません。十人十色という言葉があるように、会社が売りたい商品をお客様それぞれに本当の意味で寄り添ったご提案を心掛けております。そのようなことをしているとお客様の中には何も商品をご紹介できないケースもありますが、それも1つのご提案となるのかなと思います。弊社は単に商品をご提案して終わりではなく、工事後のアフターフォローまで担当を代えず、お客様のご要望に徹底してお応えする起動型ソリューションを強みとして営業活動しております。

施工に関しては、施工実績20,000件以上を誇る太陽光・蓄電池・オール電化を専門にしている大手施工会社との業務提携により、今までとは違う施工方法と施工時間をご提案します。例えば、太



陽光の設置だと9キロでも朝の8時半から夕方5時頃までで完工、オール電化は朝の8時半から午前中に完工、その日からお風呂に入れてお客様には喜ばれています。また、蓄電池も同様に午後3時前後には完工といった、お客様の生活リズムを崩させない施工をご提供しております。雨漏りを始めとする工事に係る保証は、設置している限りの特別保証を実施。さらに、オール電化やトイレ等のリフォームに関して通常の商品保証は2年のメーカー保証しかありませんが、弊社では最大10年まで延長する商品保証を付けてお客様のご安心をご提供させていただいております。人材の育成を通じて地元福島、東北そして社会に貢献することを事業の基本精神とし、「お客様に感謝・感激・感動していただける会社」を目指し、日々社員一丸となって努力しております。

・会社概要・
社名：東北エネルギー(株)
住所：福島県西白河郡矢吹町新町216-1
代表者：代表取締役 安波信也
創業：2006年
主な事業：太陽光・蓄電池・オール電化販売管理施工、一般住宅のリフォーム関連の販売・自社施工、アパートのリフォーム・借上げ提案営業

未来の子供たちの笑顔のために、私達ができることは何か

日本住宅サービス(株) (中国・四国エリア会員)

当社は、企業理念「より人間らしい豊かな暮らしを「エネルギーと通信」で実現していく」を礎とし、事業活動を展開しております。

「太陽光発電所の施工および販売事業」と「エネルギーマネジメントシステム普及事業」を2本柱に据え、主に西日本エリアを中心に活動しております。「太陽光発電所の施工および販売事業」について、太陽光発電所の設置工事を行うにあたり、地域住民の皆様との共存共栄を最重要と考え、現地事前調査の徹底、工事品質にも周到な安全管理を心がけております。また、2019年度より、自家消費向け太陽光発電システムの提案を強化しており、投資型物件の提案のみならず、地球環境によい活動の普及展開、もちろん非常時の電源確保としてのニーズ等にも対応できるよう、日々、最新技術の情報収集、そして商品開発への積極参加をしております。お陰様で、地域密着を心がけてきたことで、さまざまな顧客ニーズを正確に把握し、数ある太陽光発電の物件の中から、最良な提案を行ってきたことが、当社のなによりの強みとなっております。売り切りの商売ではなく、お客様との信頼を第一に

考えていくことが、企業としての成長につながるものと信じております。

「エネルギーマネジメントシステム普及事業」においては、ZEH時代に対応するための「HEMS」に代表される通信機器、その他ホームネットワーク設定工事

を全国（北海道、沖縄除く）展開しており、施工実績は20,000棟以上（2018年末時点）となりました。日本の少子高齢化社会によるさまざまな課題に対し、AI（人工知能）の技術を「エネルギーと通信」に活かしながら、世の中が、より人間らしい豊かな暮らしの社会になるよう挑戦し続けます。当社の今後の事業展開にご期待ください。

・会社概要・
社名：日本住宅サービス(株)
住所：：広島県福山市多治米町1-16-20
代表者：代表取締役 有吉彰英
創業：2007年10月
主な事業：ホームネットワーク事業、グリーンエネルギー事業（太陽光発電所 施工&販売）一般住宅の改修事業、エコ製品流通事業



私たち（一社）日本PVプランナー協会は SDGs達成に貢献する団体であることを宣言します！

（一社）日本PVプランナー協会はホームページ上に、SDGsに貢献することを宣言いたしました。それにとともに、外務省ホームページのSDGs関連ページに取組事例のひとつとして掲載されました。

SDGsという国際目標は、協会の理念やこれまでの活動にかなっており、今後ますます協会の活動を推進していくためにも、SDGs貢献にコミットすることが重要と思われます。すでに宣言しているから協会の企業様も多数いらっしゃると思います。このことから協会の皆様の意識の高さを感じます。

これからSDGs宣言をしたいけれど、方法がわからない、不明な点がある方は、お気軽に事務局までご相談ください。



SDGsとは…？

「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

詳細は下記のホームページをご覧ください。

▼国際連合広報センター

https://www.un.org/ja/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

▼外務省JAPAN SDGs Action Platform

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

日本PVプランナー協会のSDGsへの取組み 【自然の力をエネルギーに変え、環境と地域の産業に貢献する】



当協会では全国会員大会基調講演や地区会セミナーを通じて、再生可能エネルギー関連の次代の

情報提供や技術勉強会を行うことで、新たな産業と技術革新の基盤づくりに貢献するとともに、つくる責任つかう責任の周知も行っています。

ソーラーシェアリングや太陽光発電の自家消費を地域においても勧められるように会員の育成を行うことで住み続けられるまちづくりに努めています。このような活動の結果、地域の会員が太陽光発電設備の設置を普及させ、クリーンなエネルギーをみんなに提供していけることを目指しています。

【一般消費者に気候変動の現状と対策についての教育を行い、具体的な対策の促進に努める】



当協会が運営しているエネルギーマネジメントアドバイザー認定センターではエネルギーマネジメントアドバイザーの資格認定を行っています。

この資格は、一般消費者が正しくエネルギーマネジメントを理解するために、消費者に対し、アドバイスができる専門のアドバイザーを育成し、気候変動の現状および対策が急務であることを受講者に啓発し、より多くの消費者が具体的なアクションへとつなげていけるよう橋渡しのお手伝いをしています。現在、認定者総数（延べ人数）は2,500名を突破しました（2019年3月19日現在）。



認定講座の様子

テキスト

【地域ごとの仲間づくりと、省庁・自治体・団体・企業との連携を進め、SDGs達成に努める】

当協会は協会理念に賛同する施工店・販売店が全国に150社ほど加盟しています。再生可能エネルギーを推進する地区会セミナーや支部会、連絡会を開催して、最新の情報を共有し、意識を高めていくことで、SDGs達成に向けて積極的に取り組んでいます。

また関係省庁・自治体・他団体・企業とも全国会員大会や会報誌、訪問による情報交換を積極的に行い、連携していくことで、信頼できる持続可能なエネルギーサービスの実現に向けて努めています。

計測器ランド® 太陽光メンテナンス向け測定器セレクション

絶縁抵抗・電圧・電流測定 電気工事や施工・点検の必須アイテム

機器の絶縁劣化判定に

HIOKI **太陽光パネルの絶縁抵抗測定用に設計**

- PVの絶縁抵抗を屋間でも安全、正確に測定
- PV専用ファンクション搭載、測定時間4秒

デジタル絶縁抵抗計 IR4053-11

KYORITSU Bluetooth Smart搭載

アナログの使い易さをそのままに測定値を携帯端末に保存

アナログ絶縁抵抗計 KEW 3441BT

高い安全性と信頼性のスタンダードDMM

HIOKI **安全性を追求し、電流端子をなくすることで短絡事故を防止**

PV向けDC 1700V測定

デジタルマルチメータ DT4254

FLUKE **IP67防水・防塵 厳しい環境下での測定に**

AC/DC 1000V測定

工業用マルチメータ Fluke-28II

sanwa

■目盛を最小限にし、見易さ/読易さを改善した3レンジ式 DC1000/500/250V

アナログ絶縁抵抗計 PDM1529S

KYORITSU オープンコアセンサで狭い箇所のAC/DC電流測定が可能

1台で直流電圧/電流測定ができる DMM機能付き電流クランプメータ

AC/DCクランプ付き デジタルマルチメータ KEW MATE 2012RA

HIOKI Bluetooth

スマホにデータ転送するため手書きの手間が省けます

- 交流/直流を自動で判別
- 直流電圧は1700Vまで測定可能

AC/DCクランプメータ CM4372

CUSTOM ベーシックなACクランプメータ!

- 200A AC電流の測定、2000カウント
- 手動レンジ切り替え
- 測定速度: 0.16mm
- サンプリング: 2回/秒

ACクランプメータ **C-01S**

HIOKI 薄くて強い・カードリーダー機能付!

- インバータ電流の測定ができる真の実効値型: 42 ~ 1000A、3レンジ
- 電圧測定・導通チェック・抵抗測定を1台で可能に、電工の必需品!

ACクランプメータ **CM3289**

感電事故防止・通電確認（接地抵抗計 検電器）

安全確認・必須アイテム

現場に強い、汚れても洗える IP67

防塵防水性に優れているだけでなく、準備～片付け時間を従来より短縮

防塵防水性: IP67 粉塵が筐体内に入らない構造だから、泥やほこりを気にせず現場で使えます。汚れても、水洗いが可能な接地抵抗計

HIOKI **デジタル接地抵抗計 FT6031-03**

IP67防水であらゆる環境に適応! 小型コードリールでスピーディーに接地測定

KYORITSU **デジタル接地抵抗計 4105DL**

金属非接触で安全に検電

FLUKE 非接触AC電圧検出器とLEDライトが1つに!

AC 90 ~ 600V

※ソースからの距離に応じて発光色が変わります。・ブザー音無し

電圧ライト LVD2

HIOKI AC 40 ~ 600V

ブザー音有り ※感度調整可能 LEDライト付き交流検電器

3481

PV総合試験器

オールインワン・これ1台でOK

KYORITSU

PV絶縁、絶縁、接地、電圧測定機能をコンパクトなボディに搭載

太陽光発電システム総合試験器 **KEW 6024PV**

太陽光パネル検査

サーモグラフィー 温度検出による欠陥クラスタ検出

FLUKE 素早く簡単な操作

- 簡単なポイント・アンド・シュートで 80 x 60 の解像度 (4,800 ピクセル)
- D:S 128:1 の細部まで再現
- ワンタッチの画像再生ギャラリー

サーモグラフィー FLUKE-TiS10

testo ガンタイプ最高の 320x240画素、温度分解能0.05℃以下の高画質サーモグラフィー

50 mK (0.05℃) 以下の温度分解能、32°レンズ、ホットスポット/コールドスポットの自動認識機能

サーモグラフィー testo 882

I-Vカーブトレーサ メーカーが定めた性能と同等であることを確認

HIOKI I-Vカーブを1秒で連続トレース、発熱を気にせず連続測定、作業時間を大幅短縮

測定データをタブレット端末に保存 ※タブレット機器は付属しません

FT4300

EXCEL

- ・国内ガイドラインに準拠した開放電圧、短絡電流試験が可能
- ・Max 1000V/10A のワイドな測定レンジ、しかも高精度 (±1%)
- ・太陽電池の定格値をデータベースに登録し、測定データを STC 換算し自動的に合否判定が可能
- ・製造元: HT ITALIA SRL

I-V V400

屋間でも遮光せずに測定できるBPDテスト

HIOKI

測定対象

バイパスダイオードの開放故障、短絡故障の検査

- ・バイパスルートの開放、短絡
- ・バイパスルートの抵抗、開放電圧、短絡電流

Bluetooth 無線技術搭載

バイパスダイオードテスト FT4310

掲載商品は一例です。他にも様々なモデルを取り扱いしておりますので是非お問合せください。

お問合せ先:

東洋計測器株式会社

TEL:03-3255-8061 FAX:03-3255-8062

担当:菊地・鶴田

※この広告の記載内容は2019年1月現在のものです。 ※本カタログ記載の仕様等はお断り無く改訂・改訂することがあります。 ■この広告中で使用している会社名及び製品名は、それぞれ各社の登録商標もしくは商標です。